

日本リユースシステム ■ 不用衣類引き取り

「ワンコインエコ」提案

年内目標 引越事業者100社参加

【吉田英行】日本リユースシステム(山田正人社長、

東京都港区)は8月から、不用衣類を500円で引き取り、開発途上国にワクチンとセットで送る「ワンコイン・エコ」の引越事業者

向け提案を本格化させ、年内に引越事業者100社の参加を目標としている。

ワンコイン・エコは、一般家庭から出る不用衣類を90

リットに加え、引越事業者には顧客サービス向上、イメージアップ、運賃収入アップにも効果がある。500円は輸送費とワクチン購入代金に充当される。

衣類は一般家庭で最も不用品になりやすく、近年ではゴミとして大量廃棄されている。こうした衣類は流

行の影響で不用になったものが多く、日本の中古衣類は世界的にみて品質が良く、開発途上国での需要が高い。そこで、引越事業者が現場で低料金で回収するシステムを整え、回収率を高めたい考え。

中小事業者も含め、関東エリアを中心に年内に100社の参加を募る方針。デボは現在1か所だが、順次増やし、1年後をメドに全国カバーを目指す。

山田社長は「500円硬貨ワンコインで社会貢献ができるなら、協力してくれる消費者はたくさんいるはず。引越事業者は付加価値アップになる上、車両が空いている時に不用品を運んで運賃を稼げる。CSR(企業の社会的責任)意識の強い事業者に参加を呼び掛けていく」と話している。